

平成30年度おかやま協働のまちづくり賞応募用紙

平成30年10月6日

岡山市長 様

応募者代表 団体名 NPO 法人ひよこ子ども食堂
氏名 代表理事 林 正則

平成30年度「おかやま協働のまちづくり賞」に応募します。

取組の名称	ひよこ子ども食堂	
取組の概要 <small>※インターネット投票を行うサイトにそのまま掲載します。今年のテーマとの関連がわかるよう、目的（解決を目指している課題）及び取組概要を300字（句読点含む）以内で記載してください。</small>	<p>*おいしい！また食べたい！と評判の3世代交流型の食堂です。 住宅地の民家で、近所のベテランのお母さん方が食事をつくります。 （毎月第2土曜の昼、先着30名、子ども無料、大人300円） 食材は近くの農家2軒と岡山青果食品から頂いた野菜や果物。 食事の合間に行う中国学園大学の学生による紙芝居には、わくわくドキドキ、賑やかです。</p> <p>*ひよこ学習塾（場所はひよこ子ども食堂、毎週土曜の午前中、主に小学生対象、受講料：無料） 目的は基本的な学習習慣を身に付け、基礎学力の向上。 近所の夜間中学の先生、大学生、中学生がボランティアとしてサポート。子ども本人の興味・関心に寄り添う、楽しく学ぶ場となっています。</p>	
協働団体	<p>* NPO 法人ひよこ子ども食堂 * 中国学園大学・ボランティアサークル「まっしろ」 * プーさん文庫 * プーさん図書館</p>	
取組の実施期間	始期：平成29年4月～	<p>平成31年3月終了</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続予定 <input type="checkbox"/> 平成 年 月頃終了予定</p> <p><small>※該当するものに☑し時期の予定し必要事項記入してください。</small></p>

〔様式 1〕 協働による社会課題解決の取組の内容

取組の名称	ひよこ子ども食堂
平成30年度募集テーマ	やりがいと豊かな暮らし SDGs 目標 8 : 働きがいも経済成長も SDGs 目標 11 : 住み続けられるまちづくりを
テーマとの関連	子どもを中心とした多世代の繋がりを豊かにし、住み良い地域づくりに貢献する。
目的・解決をはかりたい課題の状況・目標	<p>◎取組の目的、解決をはかりたい社会課題の状況把握・ニーズ把握、解決後の姿（目標としている状況）などについてお書きください。</p> <p>* 取り組みの目的：みんな一緒に何かしたい人や一人静かに過ごしたい人のそれぞれの居場所づくり</p> <p>* 解決をはかりたい社会課題の状況 ：昨今の世相は利潤第一主義が極まり、無駄を省き素早い意思決定が持てはやされる。学校に競争主義が持ち込まれ生徒も先生も余裕がない。働き方は非正規雇用の仕事が多くなり収入面での格差が広がっている。子ども先生も親も“ホッとできる居場所や時間が欲しい”とのニーズが高まっている。</p> <p>* 目標としている状況 ：①地域の子どもや子育て中の親御さん、ご近所のお年寄りが気軽に立ち寄りホッとひと息つける居場所となる。 ②子どもの学力が向上し好ましい学習習慣が身につく楽しい学びの場となる</p>
取組の内容	<p>* おいしい！また食べたい！と評判の3世代交流型の食堂です。住宅地の中の民家で、近所のベテランのお母さん方が手際よく食事をつくります。（毎月第2土曜の昼、先着30名、子ども無料、大人300円、）食材は近くの農家2軒から新鮮な獲れたて野菜を頂く食事の合間に中国学園大学の学生による紙芝居もあり、子ども等はわくわくドキドキ、目を輝かせます。*ひよこ学習塾（場所はひよこ子ども食堂、毎週土曜の午前中、受講料無料、主に小学生対象）目的は基本的な学習習慣を身に付けること基礎学力の向上。近所の夜間中学の先生、大学生、中学生がボランティアとしてサポート。本人の興味・関心に寄り添い、楽しく学び考える場をつくっています。</p> <p>◎取組をWEB等で告知している場合はそのURLをお書きください。</p> <p>子ども食堂ネットワーク・ウェブサイト</p>

	団体名	この取組で果たしている役割
協働団体 とその役割	NPO 法人ひよこ子ども食堂	① おいしい！また食べたい！と評判の食事を近所のベテランのお母さん方が協力してつくる ② 近所の農家2軒の協力、野菜提供を受ける ③ 地域の子ども、子育て中の親御さん、おじいさん・おばあさんの3世代交流の場になっている ④ 塾は子ども等の楽しく学び考える場になっている
	中国学園大学ボランティアサークル「まっしろ」	食事の合間に行う紙芝居は子どもたちの楽しみの一つ、わくわくドキドキ目を輝かせます。子ども達は大学生のお兄さんお姉さんが大好き
	プーさん文庫	ひよこ子ども食堂で行う子供向け紙芝居や絵本の選定アドバイスをしている
	プーさん図書館	ひよこ子ども食堂で行う子供向け紙芝居や絵本の選定アドバイスをしている
取組の工夫 取組の特徴	<p>◎地域資源や人的資源の活用など工夫した点。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 食堂の食材確保で地元農家から食材の無償提供を受けている * 食事づくりは近所のベテランのお母さん方5人にボランティアで協力してもらう * 近所のおばあちゃんに「おばあちゃんが子どもだった頃」の話をしてもらう * “楽しく”をテーマに紙芝居・本の読み聞かせを地元にある中国学園大学ボランティアサークル「まっしろ」に依頼し学生メンバーが担当している * 本の内容選定を地域の読書サークル「プーさん文庫&プーさん図書館」からアドバイスを受ける <p>◎取組の特徴やアピールポイント。</p> <ul style="list-style-type: none"> * “子どもは地域の宝”という考えで地域ぐるみの協力を得ている * 運営は“楽しく”をモットーとしている * 企画・運営はすべてボランティアで行っている * NPO 法人の認定を取得し役員体制がしっかりしている。 	
成果・効果	<p>◎取組を通じて得られた成果や、解決した社会課題の状況、また関連した地域への効果や変化などをお書きください。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 吉備地区で昔から暮らしている世代と新しく移住してきた世代との横の繋がりができてきた。 * 1年前は母親と一緒になければ食堂にも塾にも参加できなかったが学童が、現在は1人で自主的に食堂にも塾にも参加し塾先生とも仲良しになれた。 * 塾で紹介した学習入門書により、算数、数学に興味を持った中学2年生の女生徒（ボランティアサポーター）が小学生の児童への学習支援を積極的に取り組んでいる。 	
今後の活動展開など	<p>◎今後の成果の普及や活動展開などについてお書きください。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 学びたいけど学び場のない子ども達を対象に学習習慣の習得と基礎学力の向上に寄与できる塾（支援塾）として塾生徒を10人、ボランティアサポーターを10人態勢にする。 	